

弥富市事務事業評価シート 平成30年度実施事業対象

PLAN	No.	55	6	事務事業名	平和教育推進事業	細事務事業名	平和教育推進事業	公的関与	9	シート作成日	平成31年6月25日						
	課名	学校教育		グループ	学校教育	担当課長名	渡邊一弘	シート作成者名	岩田繁樹								
	事業区分	<input checked="" type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 整備事業		<input type="radio"/> 5 施設の管理運営		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営	<input type="checkbox"/> 3 全部委託							
		<input type="radio"/> 2 施設の建設		<input type="radio"/> 4 経常的事務事業					<input checked="" type="checkbox"/> 2 一部委託	<input checked="" type="checkbox"/> 4 補助等							
	総合計画	政策目標	4 人が輝き文化が薫るやとみ				実施計画	事業の開始・終了									
		施策項目	学校教育の充実				<input checked="" type="radio"/> 1 該当	年度 ~ 平成	年度	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし							
		主要施策	生きる力の育成を重視した教育活動の推進				<input type="radio"/> 2 非該当	根拠法令等									
	個別計画																
	事業の目的	対象(誰を・何を)					意図(どういう状態にしたいのか)										
		中学生への平和教育とともに青少年健全育成					中学2年生全員を被爆地である広島へ派遣し、実際に見たり聞いたりする体験を通して、世界恒久平和の実現に向けて貢献する意欲や実践的な態度を養います。										
事業の内容	令和元年6月1日現在、弥富中学校196人、弥富北中学校166人、十四山中学校43人の中学2年生生徒を対象に11月に1泊2日を広島への派遣研修を実施します。																
成果指標	①	指標名	学校教育の充実に関する市民の満足度					②	指標名								
		指標設定の考え方	平成24年度(23.2%)の30%増を目指す。				単位		%	指標設定の考え方							
		平成 29 年度	平成 30 年度	平成 ※ 年度	目標平成 30 年度	実績	31.4		実績	—	目標	※	目標	30			
		実績	31.4	実績	—	目標	※		目標	30	実績		実績		目標	※	目標
		目標	28	目標		目標	※		目標	30	目標		目標		目標	※	目標
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	10	教育費	項	3	中学校費	目	1	学校管理費			
	直接事業費			平成 29 年度決算額			平成 30 年度決算額			平成 ※ 年度予算額							
		国・県支出金	1,000 千円		1,000 千円		千円										
		地方債	千円		千円		千円										
		その他特定財源	千円		千円		千円										
		一般財源	15,330 千円		15,555 千円		千円										
	計(A)	16,330 千円		16,555 千円		0 千円											
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.229 人		0.229 人		人										
		臨時職員工数・経費	1,580 千円		1,580 千円		0 千円										
		臨時職員工数・経費	人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円									
全体事業費(A+B)	17,910 千円		18,135 千円		0 千円												

CHECK	チェック項目					一次評価		一次評価の説明	二次評価						
	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は少ない。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	被爆地広島を実際に訪問し、見聞することは多感な十代の子供たちに平和の尊さを感じさせることができる事業です。	<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性がない。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
		3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
		4. 住民ニーズの低下がみられる。または、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input checked="" type="radio"/>	はい	<input type="radio"/>	いいえ		<input checked="" type="radio"/>	はい	<input type="radio"/>	いいえ
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	平和の大切さとともに、校外での学習や集団生活を通してマナーや社会ルールを実際に学ぶ場としてとらえていきたい。	<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っている。					<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている		3中学校の2年生全員を学校ごとに派遣し実施予定。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている			
2. 目標設定に対して成果があまり上がっていない。					<input type="radio"/>	あまり上がっていない		<input type="radio"/>	あまり上がっていない						
3. 目標設定に対して概ね目標を達成している。					<input type="radio"/>	概ね達成している		<input type="radio"/>	概ね達成している						
4. 目標設定に対して十分に目標を達成している。					<input checked="" type="radio"/>	十分達成している		<input checked="" type="radio"/>	十分達成している						
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	学校ごとに実施することで、日程調整など学校の通常授業、行事への影響を少なくします。	<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	
ACTION	一次評価					二次評価									
	評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価				
		3	4	4	4	A	3	4	4	4	A				
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等						
	当面の課題	平和と人権を尊重し、国際社会を生きる生徒を育成する目的で、継続して研修を続けていく必要があります。					二次評価での指摘事項(部長の総括意見)								
課題解決のための改善計画	道徳や総合的な学習ともからめ、内容の充実を図るため、研修の前後からその意義を生徒に理解させるプログラムを構築します。					平成23年度からの新規事業であり、中学2年生を広島に派遣し、世界で唯一原爆被爆国であることの再認識をし、平和の尊さや大切さを実際の現地に行くことにより、肌で実感し、将来の日本の平和推進に大いに寄与できる事業であると考えます。 また、広報を活用して、広く本事業の意義を周知していく必要があります。									
備考															